

2021年度 事業計画書

(自 2021年6月1日 ~ 至 2022年5月31日)

公益社団法人

日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟は、日本国内のボブスレー・リュージュ・スケルトンの各競技を統括し、代表する団体として、定款に掲げる目的を達成するため、以下の事業を計画実施する。

1. 競技普及振興活動

(1) そり競技体験会事業

傘下の道府県連盟が主体となり、新型コロナウイルス感染症予防対策を万全にして、小中学生を対象とした体験会事業を実施し、楽しみながらそり競技の魅力を体感してもらうことで、参加者はもとより、家族、友人、学校関係者のそり競技認知度を高める。

行事名称	開催地	会場	開催予定時期	目標(人)
プッシュスケルトン練習会	滋賀県	滋賀県立国際情報高校	2021/9月	20
プラスチックそり大会	宮城県	太陽の村	2021/10月	30
ローラー リュージュ/スケルトン体験会	長野県	NAGANO スポーツフェスティバル	2021/10月	50
スケルトン体験教室	北海道	札幌市内	2022/1月	50
リュージュ体験教室	北海道	藤野競技場	2022/1/28	30

(2) 選手発掘事業

① JSC スポーツくじ事業 タレント発掘

昨年度策定した競技別発掘育成計画書に基づき、ボブスレー・スケルトンは8年、リュージュは15年計画でオリンピックメダリスト有望選手を発掘・育成することを目的とする。

■ボブスレー・スケルトン合同

行事名称	開催地	開催時期	目標(人)
選手発掘テスト1	東京都	2021/4/17	10
選手発掘テスト2	京都府	2021/4/18	10
選手発掘テスト3	神奈川県	2021/4/24	10
選手発掘テスト6	千葉県	2021/5/16	10
選手発掘テスト9	岡山県	2021/6/6	10
選手発掘テスト10	佐賀県	2021/6/12	10
選手発掘テスト12	宮城県	2021/7/3	10
選手発掘テスト15	東京都	2021/8/1	10

■ボブスレー

行事名称	開催地	開催時期	目標(人)
育成合宿1	長野県	2021/5/7～5/9	5
育成合宿2	静岡県	2021/5/28～5/30	7
育成合宿4	長野県	2021/6/25～6/27	9
育成合宿6		2021/7/23～7/25	10
海外育成合宿2	ヨーロッパ	2022/3/1～3/21	6

■リュージュ

行事名称	開催地	開催時期	目標(人)
選手発掘テスト7	北海道	2021/6/27	15
選手発掘テスト8	長野県	2021/6/5	50
選手発掘テスト11	愛媛県	2021/6/13	20
選手発掘テスト13	長野県	2021/7/10	15
育成合宿5		2021/7/10～7/11	3
選手発掘テスト14	北海道	2021/7/18	50
育成合宿9	長野県	2021/9/11～12	5
海外育成合宿1	北米	2021/10/1～10/14	5
育成合宿11	長野県	2021/10/9～10/10	5
海外育成合宿4	北米	2022/3/5～3/16	5

■スケルトン

行事名称	開催地	開催時期	目標(人)
地域育成合宿 1	関東	2021/5/26～5/28	2
育成合宿 3	長野県	2021/6/18～6/20	3
地域育成合宿 2	宮城県	2021/6/23～6/25	2
地域育成合宿 3	関西	2021/7/14～7/16	2
育成合宿 7	長野県	2021/7/23～7/25	3
育成合宿 8		2021/8/20～8/22	5
地域育成合宿 4	関東	2021/8/25～8/27	2
育成合宿 10	長野県	2021/9/17～9/19	7
地域育成合宿 5	関西	2021/10/27～10/29	2
育成合宿 12	長野県	2021/11/5～11/7	7
育成合宿 13		2022/2/25～2/27	5
海外育成合宿 3	北米	2022/3/4～3/25	5

② JSC 委託事業 J-STAR プロジェクト

選手の競技転向を促進させる国家プロジェクトの委託を受け、スケルトン競技の発掘育成計画対象選手獲得を目指して応募選手の特性を検証する。

行事名称	開催地	開催時期	目標(人)
検証合宿 1	長野県	2021/4/23～4/25	13
検証合宿 2		2021/5/21～5/23	10
検証合宿 3		2021/6/25～6/27	4
検証合宿 4		2021/7/23～7/25	
検証合宿 5		2021/8/20～8/22	
検証合宿 6		2021/9/3～9/5	
検証合宿 7		2021/10/8～10/10	
検証合宿 8		2021/12/10～12/12	
検証合宿 9	宮城県	2022/2/25～2/27	4
検証合宿 10	北米	2022/3/4～3/25	

(3) 国際大会・全国大会事業

長野市ボブスレー・リュージュパーク(通称スパイラル)の冬季製氷休止に伴い、日本連盟が運営する冬季大会は今年度も休止とする。

夏季に開催するボブスレー及びスケルトンの全日本プッシュ選手権大会は、昨年と同様に新型コロナウイルス感染症対策を万全に整えて開催し、実践の場を通じた各選手の競技力強化及びボブスレー、スケルトンの振興普及を図る。

行事名称	開催地	会場	開催時期	参加(人)
2021 全日本プッシュスケルトン選手権大会	長野県	スパイラル	8/21	30
2021 全日本プッシュボブスレー選手権大会				20

(4) 審判資格者育成事業

審判員資格の取得は、大会運営に必要な競技役員の確保のみならず、選手やコーチの活動における基礎知識の取得にもつながることから、競技委員会や加盟団体と連携して研修会・講習会を開催し、本連盟公認の審判資格取得試験を行う。また取得者には審判員カードを発行し、連盟主催の大会への参加を要請する。

研修会・講習会では国際審判員資格取得者が講師を行う。尚、競技普及の一助となるよう、参加料・受験料はすべて無料とする。

また、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、WEB 活用も図り事業を行う。

行事名称	開催地	会場	開催時期	(人)
ルール講習会	長野県	スパイラル	8月	10

(5) 長野スパイラル利用拡大推進事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い活動休止。

(6) 広報・ファンドレイジング活動事業

- ・JBLSF ホームページでの情報発信
- ・そり競技ファンを増やす新たな取組みの具体化

2. 競技者強化と指導者養成活動

(1) 強化事業

-1. ボブスレー

JOC 競技力向上事業で対象選手の強化事業を実施する。

行事名称	開催地	事業目標	開催時期	選手(人)
国内合宿 1	長野県	スタート局面特化トレーニングによる区間(5-15m)タイム短縮	2021/5/21～23	6
国内合宿 2		加速度センサートレーニングで手を放すまで(10-20m)の減速を抑制	2021/6/18～20	7
国内合宿 3		後半スプリント局面(20-45m)トレーニングで乗込時の減速を抑制	2021/7/13～18	8
国内合宿 4		全局面対象総合トレーニング(プッシュボブ)でスタートタイムを短縮	2021/8/10～15	9
国内合宿 5		レース本番直前のチームワーク形成(乗り込みタイミング確認)	2021/9/7～12	6

※派遣基準:コントロールテスト 700 点・プッシュボブ 4.30 秒

-2. リュージュ

国際リュージュ連盟(FIL)の支援で締結した、米国リュージュ連盟(USLA)とのパートナーシップ契約に基づき、USLA の育成プログラムを通して、JOC 競技力向上事業で対象選手の強化事業を実施する。

行事名称	開催地	事業目標	開催時期	選手(人)
国内合宿 1	長野県	・ローラーリュージュを用いた滑走感覚習得	女子スタート地点からの滑走 40 本以上(全 4 回)	2021/5/1～3
国内合宿 2			コントロールテスト 平均 65～75%	2021/6/12～13
国内合宿 3		・フィジカル評価		コントロールテスト 平均 80%
国内合宿 4			海外合宿/レースのフィジカル強化項目/目標設定	2021/8/7～8
国内合宿 5				2021/9/18～20

-3. スケルトン

JSC 次世代ターゲットスポーツの支援委託事業で選定したジュニア選手を対象に、世界トップの身体能力や技術の獲得を目標とし、スタートタイムに特化した強化事業を実施する。

行事名称	開催地	事業目標	開催時期	選手(人)
国内合宿 1	長野県	・選手にフィードバックする 3 次元分析撮影実施 ・プッシュ局面での初速タイム 2%向上 ・コンバインテスト項目向上(屋内種目 324 点以上)	2021/4/29～5/3	3
国内合宿 2		・3 次元分析を活かした、走法改善 ・コンバインテスト項目向上(屋外種目 243 点以上)	2021/6/17～22	3
国内合宿 3		・氷上プッシュの実践と氷上 3 次元分析撮影実施 ・プッシュ局面での初速タイム 25%向上	2021/8/9～15	3

(2) 海外遠征・国際レース参戦事業

-1. ボブスレー

北京オリンピック 15 位以内の目標を掲げ、ワールドカップおよびヨーロッパカップを転戦し、オリンピック出場資格を獲得するとともに、パイロット・ブレーカーのスキル向上を目的とする。

行事名称	開催地	事業目標	開催時期	選手(人)
海外遠征 1	ヨーロッパ	IBSF ランキング 30 位以内	2021/10/1～12/22	6
海外遠征 2			2021/12/30～2022/1/25	
北京 ITP	中国	コース攻略とランナーテスト	2021/10/5～27	
北京五輪		15 位以内	2022/2/1～21	

-2. リージュ

国際リージュ連盟(FIL)の支援で締結した、米国リージュ連盟(USLA)とのパートナーシップ契約に基づき、USLA チームに帯同し、JOC 競技力向上事業で対象選手の強化事業を実施する。

行事名称	開催地	事業目標	開催時期	選手(人)
海外遠征	・レークプラシッド(アメリカ) ・ソルトレークシティ(アメリカ) ・ラップラーニュ(フランス) ・インスブルック(オーストリア) ・オーバホーフ(ドイツ) ・ケニックゼー(ドイツ)	・オリンピック出場資格獲得 ・FIL ランキング 35 位以内 ・5 試合以上出場して ポイント獲得	2021/10/1 ～2022/1/5	1
北京 ITP	北京(中国)	五輪コース滑走経験	2021/10/5～27	
海外合宿	アメリカ	アメリカジュニアチームとの 合同トレーニング	調整中	
北京五輪	北京(中国)	30 位以内	2022/1/29～2/12	

-3. スケルトン

JOC 強化指定選手・次世代 TA を中心に、2022 北京五輪・2026 ミラノ・コルティナ五輪に向けた技術強化の大会参加を実施する。

行事名称	開催地	事業目標	開催時期	選手(人)
海外強化合宿	欧州	国際大会派遣選手の決定	9 月中旬	5
北京 ITP	中国	五輪コース滑走経験と情報収集	2021/10/5～27	1
ワールドカップ	北米 欧州	北京五輪実践強化とポイント獲得	2021/11/15～ 2022/1/16	1
インターコンチネンタルカップ	北米 欧州		2021/11/19～ 2022/1/15	1
ヨーロッパカップ	欧州	ジュニア選手の滑走経験強化 スタートタイムの向上	2021/11/7～ 2022/1/15	3
ノースアメリカンカップ	北米		2021/11/13～ 2022/1/15	3
ジュニアワールドチャンピオンシップ	欧州		2022/1/17～22	3
北京五輪	中国	20 位以内	2022/2/1～12	

(3) 指導者養成事業

資格を有した指導者の育成と継続的なコーチング技術の研鑽が、ソリ競技の発展の源となると考え、以下の事業を実施する。

- ・専門科目講習会の実施と事前準備及び、公認コーチ 4 新カリキュラムの検討
- ・公認コーチ取得希望者への案内、日本スポーツ協会への申請と報告

行事名称	開催地	会場	開催予定時期	目標(人)
公認コーチ 3 養成講習会	長野県	NTC スパイラル	8 月 29 日	2

※ 実技講習は対面でのみ可能との JSPO 指示に従い、継続受講者 2 名に実技科目講習を実施予定

(4) 長野スパイラルそり競技調査研究事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い、スパイラル機材を活用した同事業は休止する。

(5) 医科学サポート推進事業

JOC が掲げる「人間力なくして競技力向上なし」の体現を目指し、3 競技の強化後方支援として、競技力向上に繋がる選手教育や医・科学サポート活動、その研究支援などを行う。

また、人間力の向上を目指し、インテグリティ教育の推進を担う。なお、コーチの資質能力向上や指導力向上に繋がる医・科学情報の提供も念頭に入れ、活動に従事する。これらの活動に関しては、3 競技の強化方針ならびに計画に基づいた連携のもと、計画的に行なわれるものであり、医・科学部単独で行うものではない。

上記に基づき、以下の年間活動と事業を実施する。

① 年間活動

活動名称	目的	対象者
感染症対策ガイドライン更新	世界的な感染動向と国内動向を踏まえたガイドラインの更新と選手、コーチへの情報発信	加盟選手 スタッフ
行動規範、行動指針の見直しと再策定	行動規範、行動指針の再策定と選手、コーチへの情報発信	
次世代ターゲットアスリート事業 医・科学サポート(スケルトン)	次世代ターゲットアスリートの競技力向上と人間力育成 実施内容のアウトプット	選手 3 名 スタッフ

② 事業

行事名称	開催地	事業目標	開催時期	人数(人)
3 競技合同会議	調整中 (オンライン 可能性あり)	行動規範、行動指針の公開と参加者の共通理解 アンチ・ドーピングの応用知識習得 インテグリティに関する知識習得 競技力向上につながる医・科学情報の理解 海外派遣を見据えた感染症対策情報の理解	2021 8/28-29	40
アンチ・ドーピング 基礎研修	オンライン	アンチ・ドーピングに関する基礎知識の習得	2021/7	30

以上